

## 通勤形車両の新造計画について

JR東日本では、輸送品質の安定性と快適性を高め、お客さまに安心してご利用いただける鉄道づくりを推進しております。このたび、3形式の通勤形車両を新造することとなりましたのでお知らせいたします。

首都圏においては、通勤・近郊形電車の新型車両への取替を順次進めていますが、今回、南武線用にE233系通勤形車両を新造いたします。

また、新潟地区においてはE129系一般形車両を、仙台地区においては仙石線・東北本線接続線用にHB-E210系ディーゼルハイブリッド車両を新造いたします。

今後も輸送品質の向上を推進し、安全で安定した輸送サービスの提供に努めてまいります。

### 1. 南武線用通勤形車両（別紙1）

#### （1）編成数

E233系通勤形車両の6両編成を35編成（210両）新造します。

#### （2）運転開始時期

2014年度から順次運転を開始します。

#### （3）運用区間

南武線（川崎～立川）

#### （4）車両の特長

- ・ 定員が従来の205系車両と比較して約1割増加し、混雑が緩和されます。
- ・ 車内照明をオールLED化とし、従来の蛍光灯の約6割の消費電力量とすることができます。
- ・ 205系車両と比較して約7割の消費電力量で走行できます。



南武線用E233系車両

E233 系車両は、2006 年度の中央快速線を皮切りに、京浜東北線、常磐線各駅停車、京葉線、東海道線、宇都宮・高崎線、埼京線に投入している首都圏の通勤・近郊形車両です。

「故障に強い車両」「人にやさしい車両」「情報案内や車両性能を向上させた車両」をキーワードとし、主要機器の二重系化、ユニバーサルデザインを考慮したインテリア、快適性向上のための座席幅拡大等を行っている他、車内外の情報案内装置を充実させています。

## 2. 新潟地区向け一般形車両（別紙 2）

### （1）編成数

E129 系一般形車両の 2 両編成を 30 編成（60 両）、4 両編成を 25 編成（100 両）新造します。

### （2）運転開始時期

2014 年度から順次運転を開始します。

### （3）運用区間

上越線	（水上～宮内）
信越本線	（直江津～新潟）
羽越本線	（新津～村上）
白新線	（新潟～新発田）
越後線	（柏崎～新潟）
弥彦線	（東三条～弥彦）

### （4）車両の特長

- ・ 従来の 115 系車両と比較して定員が約 1.5 割増加します。
- ・ 車内照明をオール LED 化とし、従来の蛍光灯の約 6 割の消費電力量とすることができます。
- ・ 115 系車両と比較して約 5 割の消費電力量で走行できます。



新潟地区向け E129 系車両

E129 系車両は、E233 系車両をベースとしており、ユニバーサルデザインを考慮したインテリア、快適性向上のための座席幅拡大等を行っている他、車内外の情報案内装置を充実させています。また、新潟地区の気候を考慮した耐寒耐雪構造の車両となっています。

### 3. 仙石線・東北本線接続線用ディーゼルハイブリッド車両（別紙3）

#### （1）編成数

HB-E210系ディーゼルハイブリッド車両の2両編成を8編成（16両）新造します。

#### （2）運転開始時期

2015年の仙石線・東北本線接続線の開業より運転を開始します。

#### （3）運用区間

仙石線（高城町～石巻）

東北本線（仙台～塩釜）

仙石線・東北本線接続線（塩釜～高城町）

#### （4）車両の特長

- ・ 2両1編成の構成とし、通勤・通学のお客さまの乗降をスムーズに行って頂くため、片側3扉としております。
- ・ 車内照明をオールLED化とし、従来の蛍光灯の約6割の消費電力量とすることができます。
- ・ 燃料消費量を低減する他、排気ガス中の有害物質である窒素酸化物（NOx）と粒子状物質（PM）の排出量を約6割低減しております。



小海線 キハ E200 形車両

ディーゼルハイブリッド車両は、2007年に当社で初めて小海線にキハ E200 形車両を導入し、その後、2010年に盛岡地区・秋田地区・長野地区向けに HB-E300 系車両を導入しております。

今回導入する仙石線・東北本線接続線用の HB-E210 系車両もディーゼルハイブリッドシステムを搭載し、ブレーキ時の回生エネルギーの有効活用を図っております。

※ ディーゼルハイブリッドシステムとは、車両の状況に応じて、ディーゼルエンジン発電機と蓄電池という2種類の動力源を、単独あるいは組合せて走行に必要な動力を発生させるシステムです。

## E233系通勤形車両の概要

	E233系（南武線）	205系（南武線）
		
編成	6両編成	6両編成
定員	924名	848名
車体寸法	20m (全長)×2.95m (全幅)×3.62m (全高) (ステンレス製拡幅車体)	20m (全長)×2.80m (全幅)×3.67m (全高) (ステンレス製車体)
営業 最高速度	95km/h (設計最高速度は120km/h)	95km/h
制御方式	VVVF制御、交流誘導電動機	界磁添加励磁制御、直流電動機

## E233系通勤形車両の車内



(写真は中央線E233系)

## E129系一般形車両の概要

	E129系（新潟地区）	115系
		
編成	2両編成 4両編成	2両編成 4両編成
定員	2両編成・・・273名 4両編成・・・581名	2両編成・・・236名 4両編成・・・490名
車体寸法	20m（全長）×2.95m（全幅）×3.62m（全高） （ステンレス製拡幅車体）	20m（全長）×2.90m（全幅）×3.65m（全高） （鋼製拡幅車体）
座席配置	セミクロスシート	セミクロスシート
行先表示	フルカラーLED	方向字幕
営業 最高速度	100km/h （設計最高速度は110km/h）	100km/h
制御方式	VVVF制御、交流誘導電動機	抵抗制御、直流電動機

## E129系一般形車両の特徴

- ・新潟地区の気候に対応した耐寒耐雪構造、半自動機能付き片側3扉車両
- ・車内照明にLEDを採用
- ・ユニバーサルデザインを考慮したインテリアの採用

## HB-E210系ディーゼルハイブリッド 車両の概要

	<p>HB-E210系</p>  <p>(写真は小海線キハE200形)</p>
編成	2両編成
定員	約260名
車体寸法	20m (全長)×2.95m (全幅)×3.62m (全高) (ステンレス製拡幅車体)
側出入口	片側3扉 (半自動機能付き)
営業 最高速度	100km/h (設計最高速度は100km/h)
制御方式	コンバータ+VVVF制御・交流誘導電動機

## HB-E210系ディーゼルハイブリッド 車両の特徴

- ・ 仙台地区の気候に対応した耐寒耐雪構造、半自動機能付き片側3扉車両
- ・ 車内照明にLEDを採用
- ・ 燃料消費量を低減する他、窒素酸化物 (NOx) と粒子状物質 (PM) の排出量を約6割低減